

高校生ビジネスプラン・グランプリの概要



本資料の記事、写真、イラスト、画像、データなどの無断転用・転載はお断りします。

Copyright © Japan Finance Corporation. All Rights Reserved.

高校生・高専生の
ビジネスプランを競う全国規模の大会

参加校

505校

応募総数

5,014件

※第11回大会

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第9回	第10回	第11回
応募校数	151	207	264	324	385	396	409	353	455	505
応募件数	1,546	1,717	2,333	2,662	3,247	4,359	3,808	3,087	4,996	5,014
出張授業 実施校	82	148	183	241	300	331	353	249	425	472

※第8回大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

目的

自ら考え、行動する力（≡アントレプレナーシップ[※]）の養成

※様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、
新たな価値を生み出していく精神

出典：文部科学省アントレプレナーシップオフィシャルサイト

高校生ビジネスプラン・グランプリの魅力

実社会で必要な力を高められます！

身の回りの困りごとなどに目を向け、世の中の仕組みや社会との繋がりに興味・関心を持ち、自分で考え・行動する力が養えます。

進路選択にも役立ちます！

誰に・何を・どのように提供するのか、経営資源や収支計画まで考え、ビジネスプランを作る経験は、視野を広げ、将来の選択肢の幅も広がります。



大学受験の総合型選抜試験にも活用！

グランプリを通じて、生徒自身の関心分野を認識し、学びたいことが明確に！AO入試等にも活用いただいています。

※ファイナリストに選ばれた生徒（個人）は、慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部のAO入試一次選考免除の対象になりました。

「総合的な探究の時間」で活用OK！

総合的な探究の時間で高校生ビジネスプラン・グランプリに取り組む学校が増えています。詳細は、次頁をご覧ください。

「総合的な探究の時間」の授業における活用

「総合的な探究の時間」と「高校生ビジネスプラン・グランプリ」には、多くの共通点があり、学校の授業等で活用することができます。

総合的な探究の時間[※]

目標



探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。



実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができるようにする。



探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

プロセス



高校生ビジネスプラン・グランプリ

目標 以下の3つの力を養います。



自ら学び、考え、課題を見つける力

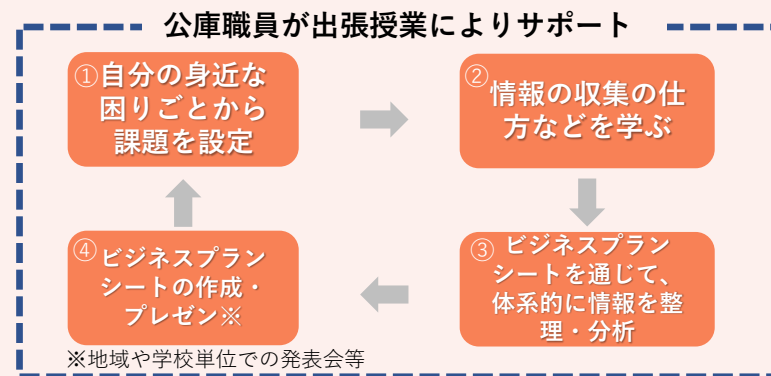


課題を解決するための論理的な思考力



他者と協働しながら課題を解決する力

プロセス



募集するビジネスプランの内容

応募資格

全国の高等学校(中等教育学校後期課程を含む)
および高等専門学校(1～3年生のみを対象)の
生徒からなるグループまたは個人

募集内容

若者ならではの自由な発想や創造力を活かしたプラン

ビジネスプラン例

01

人々の生活をより良い
ものに変えるプラン

高齢者に買い物代行を委託し、子育て世代の負担軽減と高齢者の健康維持を狙ったアプリを開発するプラン

02

世の中の仕組みをより
良いものに変えるプラン

魚のプラスチック誤食防止を目的に、魚が嫌う味の天然成分を含む生分解性プラスチックビニール袋を販売するプラン

03

地域の課題を
解決するプラン

酪農家の飼料調達コストを削減するため、特産品であるイネ科の多年草マコモ(真菰)から飼料を生産販売するプラン

ビジネスプランシートの構成

創造力無限大 11th ビジネスプランシート [WEB提出用]

3 商品・サービス 必須

① 商品・サービスの内容 ② 既存の商品・サービスとの違い、セールスポイント

01.商品・サービス

同じような商品・サービス(競合品の確認)

創造力無限大 11th ビジネスプランシート [WEB提出用]

4 顧客 (商品・サービスを販売する先) 必須

想定している顧客 (ターゲット)

02.顧客

5 必要な経営資源

必要な経営資源 (ヒト、モノ、技術・ノウハウ)

① ヒト・モノ・サービスを確保するための計画は、どのような方法で行う必要があるかを考える。

03.必要な経営資源

実現に向けて考えられる課題 (ハードル (障壁) やリスク) と対処方法

① ポイント → 実現するための課題 (ハードル (障壁) やリスク) は何か、幅広く考えてみましょう。

② 対処する方法は、自分たちの得意分野、強みを活かす方法で良いですし、他社の人材や技術を活用する方法でも構いません。

創造力無限大 11th ビジネスプランシート [WEB提出用]

6 収支計画 (年間) 必須

		1 年後	[] 年後 (任意の年を記入)
経費	売上高	万円	万円
	売上原価 (仕入高)	万円	万円
	人件費	万円	万円
	家賃	万円	万円
	広告宣伝費	万円	万円
	その他	万円	万円
	合計	万円	万円
	利益	万円	万円

計算方法

① ポイント → 経費や売上原価(仕入高)の欄に記入してください。

② 売上高は、売上原価(仕入高)を差し引いた金額で記入してください。

③ 利益は、売上高から経費や売上原価(仕入高)を差し引いた金額で記入してください。

04.収支計画

ビジネスプランの項目と審査のポイント

01 商品・サービスの内容

- ・高校生、高専生ならではの豊かな発想や着眼点があるか？
- ・人々の生活や世の中の仕組みの改善、または地域・社会に貢献する事業内容であるか？

02 顧客

- ・ニーズを把握し、具体的な顧客(ターゲット)を想定しているか？
- ・販売方法や広告・宣伝方法が具体的で、商品・サービスの内容とマッチしているか？

03 必要な経営資源

- ・必要な経営資源(ヒト、モノ、技術、ノウハウ)等が考慮されているか？

04 収支計画

- ・ビジネスを継続できるだけの売上・利益が見込まれるか？



ビジネスプランの作成をサポートする出張授業を行っています。

- ・第11回は、472校(受講者数約39,000人)に実施
- ・創業支援を行う公庫職員が無料で学校に訪問
- ・オンラインにも対応
- ・基礎、中級、実践など、レベルに応じた授業
- ・授業人数、時間もご希望に合わせて対応



基礎編

ビジネスの基礎知識

- ・ビジネスとは？
- ・ビジネスアイデアとは？
- ・ビジネスプランを考えてみよう
- ・人が求めるものとは？

中級編

基礎編の復習や アイデアの発想方法など

- ・基礎編の復習
- ・ビジネスアイデアの発想
- ・アイデアのコンセプトを考える
- ・アイデア発想法の紹介

実践編

実践的なプラン作成や 収支計画の立て方

- ・セールスポイントを考える
- ・競合(ライバル)を考える
- ・ターゲット/マーケティング
- ・具体的な販売方法
- ・市場規模

応募スケジュール

8月
～
9月

応募期間

本グランプリHPから「応募登録」・「ビジネスプランシート」を提出
※4月～9月 出張授業実施



11月
下旬

書類選考

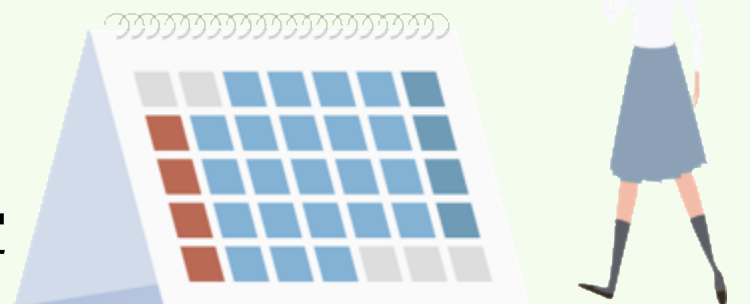
ベスト100決定！
上位10組はファイナリストとして最終審査会へ！



1月

最終審査会

プレゼンテーションを実施
グランプリ・準グランプリ等を決定



最終審査会の概要

概要

会場

東京大学伊藤謝恩ホール(東京都文京区)

審査員

大学教授、起業家、起業教育関係者など8名

イベント

「起業の意義」や「社会で必要となる力」についての**特別講演**

歴代優勝校

第1回

愛媛県立宇和島水産高等学校

第6回

京都府立木津高等学校

第2回

愛知県立五条高等学校

第7回

大阪府立三国丘高等学校

第3回

青稜高等学校(東京都)

第9回

宮城県農業高等学校

第4回

大阪府立三国丘高等学校

第10回

東京都立晴海総合高等学校

第5回

市川高等学校(千葉県)

第11回

田園調布学園高等部(東京都)



東北地区の入賞実績(第1回～第11回)

ファイナリスト(10組) ※()内は各大会ごとの受賞者数

グランプリ
(1組)

宮城県農業高等学校(第9回)

準グランプリ
(1組)

青森県立三本木農業
恵拓高等学校(第10回)

審査員特別賞
(3組)

宮城県農業高等学校(第2回) 青森県立名久井農業高等学校(第5回)

優秀賞
(5組)

青森県立名久井農業高等学校(第1回) 岩手県立遠野緑峰高等学校(第3回)
宮城県農業高等学校(第6回・第11回)

セミファイナリスト(10組)

青森県立名久井農業高等学校(第4回) 八戸工業高等専門学校(第9回)
宮城県農業高等学校(第4回・第10回)

ベスト100(岩手県内)

岩手県立遠野緑峰高等学校(第5～7回・第9回) 岩手県立宮古水産高等学校(第2回)
盛岡中央高等学校(第4回)



高校生ビジネスプラン・グランプリから羽ばたいた先輩



社名 株式会社タイミー

代表 小川 嶺

業種 スキマバイトアプリ「タイミー」の運営・開発

創業年月 2017年8月

概要

- ・第3回大会でファイナリストに選ばれなかった悔しさをバネに、誰かを喜ばせるサービスで社会貢献したいと創業を決意
- ・企業の人材確保難と短期アルバイトを希望する学生等のニーズに着目し「Timee(タイミー)」を開発
- ・高校生ビジネスプラン・グランプリ受賞者に日本公庫が創業支援を実施した

初の事例

起業までの背景

- ・第3回大会でベスト20に選出されるもファイナリストに残れず
- ・実現性や事業性のあるビジネスモデルの考案に没頭
- ・「何かをやり遂げたい」「誰かを喜ばせるサービスを作って社会に貢献したい」という気持ちが高まり創業を決意



起業後の歩み

- ・“一人一人の時間をより豊かにする”というビジョンのもと人材のマッチングサービスを提供するアプリを開発
- ・第10回最終審査会において特別講演者として登壇
- ・累計約403億円(2023年9月時点)の資金調達に成功

応募プランの商品化事例



社 名

一般社団法人Focus on

代 表

森本 陽加里

業 種

発達障がい児者向け支援アプリ開発

創業年月

2022年12月

概要

- ・名城大学附属高等学校在籍時、第7回大会に出場し審査員特別賞を受賞
- ・発達障がいでも苦しんだ自身の経験をもとに、「学校に行きづらい」と思う発達障がい児童をなくすため、支援ノウハウを蓄積・共有するアプリを発表
- ・大学進学後も、「疲れ」や「困りごと」を家族や支援者に共有できるセルフケアアプリの開発を進め、起業

応募プランの商品化事例

商品化までの背景

- ・第7回大会で審査員特別賞を受賞
- ・プランの実用化に向け、大学進学後もアプリリリースに向けた活動を継続
- ・2022年12月に起業し、2023年10月にはクラウドファンディングにより目標金額300万円を超える調達に成功。また、日本公庫からも創業融資を調達
- ・2024年2月にアプリリリースを開始

【参考】「Focus on」～共有するセルフケアアプリ～

- ・ユーザーが感じている「疲れ」や「困りごと」を家族、支援者と共有するセルフケアアプリ
- ・目に見えないユーザー固有の感覚を視覚化し、周囲に伝える/知ってもらおうきっかけに



<https://focuson-app.com/>

受賞校の都道府県知事への表敬訪問

第11回高校生ビジネスプラン・グランプリにて、受賞した高校生及び高専生が都道府県知事にビジネスプランの発表や受賞報告を行いました。この他にもベスト100を受賞した多くの高校生等が市町村長等へ表敬訪問を行っています。

小池百合子 東京都知事を表敬訪問



出典元: 東京都

左から
東京都知事賞(東京地区大会)
頌栄女子学院高等学校

グランプリ
田園調布学園高等学校

審査員特別賞
東京学芸大学附属国際中等
教育学校

大野元裕 埼玉県知事を表敬訪問



準グランプリ
栄東高等学校

池田豊人 香川県知事を表敬訪問



優秀賞
香川県立高松東高等学校

濱田省司 高知県知事を表敬訪問



セミファイナリスト(ベスト20)
高知工業高等専門学校

関連イベントの開催・岸田総理大臣からのビデオメッセージ

地域ごとにプラン発表会・交流会

ファイナリスト選考過程で惜しくも落選したグループ又は個人に、発表の機会を提供することを目的に、受賞者や参加を希望する学校等を集めてプラン発表会を開催



※第11回高校生ビジネスプラン・グランプリ東北地区発表会



岸田総理大臣からのビデオメッセージ

第11回最終審査会では、ビジネスプランの発表に臨む高校生に対して、第9回・10回に引き続き岸田総理大臣からのビデオメッセージを配信



岸田総理大臣からのビデオメッセージは公式HPを参照



情報提供・お問い合わせ

情報提供

Instagram



Facebook



HP



日本公庫 グランプリ



「高校生ビジネスプラン・グランプリ」ホームページ

<https://www.jfc.go.jp/n/grandprix/>

お問い合わせ

ご不明点やご質問はお気軽に日本政策金融公庫「高校生ビジネスプラン・グランプリ」運営事務局までご連絡ください。

※平日9時～17時 土日祝・年末除く



grandprix@jfc.go.jp



03-3270-1385